

★ 交 通 安 全 豆 知 識 ★

ハイビームの上手な活用で夜間の歩行者、自転車の事故防止

夜間、街灯が少ない暗い道などを走行する時は、前照灯を上向き（ハイビーム）にすることで歩行者などを遠くから発見することができ、早期の事故回避措置が可能となります。

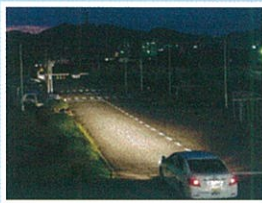
夜間の安全運転のポイント

- ・ 暗い道で対向車や先行車がない場合は、ハイビーム（走行用前照灯）を活用
- ・ 交通量の多い市街地などや対向車や先行車がいる場合は、ロービーム（すれ違い用前照灯）で走行
- ※対向車が自転車の場合も確実にロービームに切り替えましょう。
- ・ 昼間より速度を落とした運転を励行



～夜間は速度を落とし、前照灯の上向き・下向きの切替えをこまめに行いましょう～

ハイビームの見え方



▲パイロンまでの距離100m



▲パイロンまでの距離 60m

ロービームの見え方



▲パイロンまでの距離100m



▲パイロンまでの距離 60m

夜間、ハイビーム（走行用前照灯）で走行した場合には、ロービーム（すれ違い用前照灯）の場合よりも2倍以上遠くから歩行者を早期に発見することが可能となります。

反射材・ライトを活用しよう ～薄暮・夜間はつけた光が命を守る～

歩行者や自転車利用者が薄暮や夜間に交通事故に遭わないようにするためには、反射材用品やLEDライト等を活用することが効果的です。自動車の運転者などに早めに自分の存在を知らせることができます。

- ・ 夜間歩くときは、明るい目立つ色の衣服を着用し、靴、衣服、カバン、杖に反射材を付けよう。



「反射材を着用している歩行者」は「着用していない歩行者」よりも2倍以上手前で発見できるといわれています。

